

【保土ヶ谷区】令和 8 年第 1 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 8 年 2 月 6 日 書面開催
場 所	—
出席者	<p>【座 長】 関 嵩史 議員</p> <p>【議 員】 森 ひろたか 議員</p> <p>齊藤 伸一 議員</p> <p>青木 亮祐 議員</p> <p>磯部 圭太 議員</p> <p>【保土ヶ谷区】 神部 浩 区長</p> <p>山本 実 副区長</p> <p>室山 孝子 福祉保健センター長</p> <p>半田 恒太郎 福祉保健センター担当部長</p> <p>長内 紀子 保土ヶ谷土木事務所長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和 8 年度保土ヶ谷区編成予算案について</p> <p>2 その他</p>
発言の 要 旨	<p>議題 1 令和 8 年度保土ヶ谷区編成予算案について</p> <p>(1) 区役所サービス向上・環境改善事業関連</p> <p>齊藤議員：</p> <p>駐輪場拡張に向けた試験運用とあるが、コンコースを駐輪場として使用する場合の台数はどの位を想定しているのか。</p> <p>近藤総務課長：</p> <p>別館に停めている台数程度は駐輪をできるようにしたい。また、コンコースについては現在行っている朝市のようなイベントスペースも確保できるように、あわせて考えていく。</p> <p>また、駅の近くということもあり、区役所利用者以外の長時間駐輪や、歩行者の安全などの課題もあるため、その点もあわせて検討をしていく。</p> <p>齊藤議員：</p>

コンコースについてはタイルの凹凸が大きく、区民の方からも危ないという声も出ている。できるだけフラットにするための修繕なども、あわせて検討をしていってほしい。

(2) 災害対策推進事業【20万区民の自助・共助による減災運動】について
磯部議員：

崖地相談会の中で案内できるのが建築局の補助金制度となっているが、それが相談者にとって十分な内容となっているか。また、相談後のフォローアップはできているか。

近藤総務課長：

崖地相談会では、建築局の補助金制度に加え、神奈川県「急傾斜地崩壊対策事業」も必要に応じて案内しています。相談後のアンケートでは、10人中9人が「相談して良かった」と回答するなど満足度は高く、現状の理解や今後の対応整理に役立った、との意見が寄せられています。

また、フォローアップについては、区役所が相談内容に応じ関係部署や外部機関につなぐ“調整役”を務めており、相談者が適切な対応を進められるよう支援しております。

磯部議員：

崖地相談会にかかる経費はどのくらいなのか。

近藤総務課長：

約65万円程度を予算額として計上している。

磯部議員：

2日間の開催という期間を考えると高額に思えるが、その金額は妥当なのか。

近藤総務課長：

相談会当日は地盤品質判定士が2名、運営補助で1名の計3名が2日間、終日対応する形となっている。また当日だけでなく、事前の相談者とのやりとりや、相談会後の報告書作成等の関連作業も発生していることから、妥当であると考えている。

斉藤議員：

崖地相談会がNHKで取り上げられていたが、参加した方からも好評だったと聞いている。その中で相談会の周知方法が課題だと感じている。地盤品質判定士 神奈川支部でも相談会を行っているようだが、そちらはオンラインでの申込のみだったようである。

スマホがなくても簡単に申し込めるなど、区民の方に寄り添った対応をするなど、拡充をしていってほしい。

近藤総務課長：

承知した。

斉藤議員：

災害時のペット一時飼育場所について、各拠点の理解は得られているか。

近藤総務課長：

各拠点で一時飼育避難場所を決めてもらっている。

斉藤議員：

決まっている拠点の割合はどのくらいか。

近藤総務課長：

約7割程度の拠点で場所を決めている。ペット避難については同室避難までは難しいが、各拠点がそれぞれの状況にあわせて議論を行っている状況。

斉藤議員：

丁寧に進めていただいて感謝申し上げます。川島小学校では同室避難を検討する一方で、拠点によって進捗や意識の高さは異なるため、各拠点に寄り添った対応を引き続きお願いしたい。

また、避難所の暑さ対策が今回の資料でもあがっていたが、今年の停電をふまえた対応も引き続きお願いしたい。

(3) 区制 100 周年事業について

磯部議員：

星川駅で峯小学校の子どもたちの歌声が流れているが、なぜ星川駅だけなのか。他の駅でも流してもらえるようにできないか。

川瀬地域振興課長：

こども未来プロジェクトの駅構内放送については各駅で流していただいた。引き続き調整を行っていく。

斉藤議員：

協賛金はどのような形で集めていくのか。また、ふるさと納税などの活用は考えているか。

近藤総務課長

金額別に公表する、額に応じて記念品を渡すなどを検討している。ふるさと納税については、返礼品が市民だと受け取れないなどの制約もあり難しいと感じている。

森議員：

協賛金集めに際し、クラウドファンディングは行うのか。

近藤総務課長

現在、検討をしている。

青木議員：

ほどぴーは非常に人気があると評判である。100周年と同じ年に GREEN×EXPO が開催されるが、ほどぴーがトUNKトUNKを紹介するようなキャンペーンなどはできないか。園芸博のグッズをほどぴーが渡す、一緒に登場するなど。ほどぴーにも営業活動を頑張ってもらいたい。

森区政推進課長

トUNKトUNKとほどぴーを共演させたり、ほどぴーがトUNKトUNKのグッズを使って PR することは版権的に難しいと思われる。どういったことができるのか、検討をしてみる。

磯部議員：

ほどぴーとトウクトウクが一緒になっているグッズ製作など様々な課題があることは認識しているが、脱炭素・GREEN×EXPO 推進局と一緒に becoming 取り組み、区制 100 周年、GREEN×EXPO の気運醸成を図っていただきたい。

(4) こどもが主役！地域の魅力体験事業～みんなで育む元気がやっこ～について

磯部議員：

写真にあるようなキャンプは青少年指導員でも行っていると思うが、連携をすることはできないか。

川瀬地域振興課長：

教員を目指す横浜国立大学の学生たちが主体となって、指導教員とともに、子どもたちへの提供プログラムを検討しているので、青少年指導員との連携は馴染まないと考える。

磯部議員：

本市でも児相におけるわいせつ事案が発生するなど問題になった事例もある。特に、こどもを相手にする事業には、各区局で取り組んでいる啓発や研修を取り入れていただきたい。

(5) ほどがや歯科口腔保健推進事業について

磯部議員：

過去の会議でもすみれちゃんのイラストが資料に掲載されていたが、本事業ではキャラクターを活用してどのようなことに取り組んでいるのか。

水野福祉保健課長：

親子向けの健康フェスタやプロケア受診促進等などに取り組んでいる。

(6) 区局連携促進事業について

斉藤議員：

星川駅中層階の創造界限拠点について、このスペースはどこが所有をしているのか。

森区政推進課長：

道路局が所管しており、面積としては200㎡程度ある。

斉藤議員：

なぜこれまで使用されてこなかったのか。

森区政推進課長：

様々な用途の候補はあったが、条件面など折り合いがつかなかった。

(7) 令和8年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況

磯部議員：

一覧表の中で一部対応となっているのはどういった内容か。

森区政推進課長：

例えば区民文化センター整備の案件では、検討を進めていくためにプランや計画をまず区の方で作る必要があることや、「再開発を前提にしない整備を」という提案に対しては現時点で変更する予定がないといった所から一部対応となっている。

斉藤議員：

区民文化センターの整備については局が言うように再開発を前提とするならば西谷、旧保土ヶ谷小学校跡地が候補だが、「旧東海道」というキーワードを考えると後者ではないだろうか。

本件についてずっと同じ議論を繰り返しあまり進んでいないように思えるが、どうか。

森区政推進課長：

今回は都市整備局が旗振り役となって、建物単独ではなく地域を面的にとらえた検討をしていく、ということで少しずつ前進している。また、区局連携促進事業でも600万円の予算が確保できたことから、コンサルを入れた調査を行い方向性がまとめられるような動きにしていきたいと考え

ている。

齊藤議員：

これから迎える区制 100 周年の際に区庁舎や区民文化センターなど区民に夢のある話ができるようにしてほしい。そういった節目で目標設定をしていかないと進まないと感じている。

西谷駅の駅舎改良を含めた駅周辺の基盤整備等の推進についてはどのような点が一部対応となったのか。

森区政推進課長：

地元との検討会への参加や必要に応じた国への要望といった対応は行う一方、予算計上するものがないという点で一部対応となっている。

齊藤議員：

承知したが、一部対応の取扱いが分かりにくいと感じている。

こっころサテライトの早期修繕については、子育て世代にとって重要な施設であるため、よろしく願いしたい。

森区政推進課長：

承知した。

議題 2 その他

(1) 保土ヶ谷区総合庁舎における浸水対策工事について

磯部議員：

本工事にかかる経費はどの位か。

近藤総務課長：

浸水対策工事のみだと概算で 2.5 億円程度となっている。本費用には止水板設置だけでなく、外構のかさ上げ等の工事内容も含まれている。

森議員：

これまで区庁舎が浸水したことはあるのか。

近藤総務課長：

そのような実績はない。

森議員：

今回の浸水対策工事を行うことで区庁舎の建替えが遠のくことはないのか。過去の耐震工事が思い出される。

近藤総務課長：

今回の工事を理由に建替え時期が延期になることはない、市民局からも聞いている。

斉藤議員：

本館地下駐車場が使用できない期間における代替手段をどのように考えているか。

近藤総務課長：

周辺の駐車場と協議を行っている。

磯部議員：

駐車場の不足分は、近隣施設の活用などを検討し、来庁者への周知、周辺道路の渋滞対策をしていただきたい。

(2) 横浜市災害見舞金・弔慰金について（議題外）

磯部議員：

報道などで災害時における見舞金制度が整備されている自治体もあると出ていたが、本市ではどのようになっているか。

水野福祉保健課長：

横浜市災害見舞金・弔慰金交付要綱に基づき火災や風水害・地震等の被害を受けた際に支給を行っている。手続き等は各区の福祉保健課で案内をする形になる。

磯部議員：

地域防災拠点でもこうした情報は周知されることになるのか。

	<p>水野福祉保健課長： 災害が発生すれば、弔慰金含め順を追って周知されるようになる。</p> <p>(3) 羽沢横浜国大駅周辺の交通について（議題外）</p> <p>齊藤議員： 神奈川区側の話かもしれないが、常盤台から羽沢横浜国大駅の方に向かうと道が狭く歩道もないため、歩行者や車が入り乱れており、地元からも危ないといった声が出ている。また、駅までのバスなどの公共交通機関についても要望が挙がっていることから、都市整備局とそうした意見をふまえて協議をしていってほしい。</p> <p>森区政推進課長： 承知した。</p>
備 考	